

シリーズ

沖島の四季

不思議の島「沖島」を見て食べて楽しむ

海無し県の滋賀に離島があります。
これが琵琶湖に浮かぶ不思議の島「沖島」。
漁業の島として知られる沖島ですが、
古い歴史に彩られた文化の島でもあります。

今回の企画は、各回テーマを決め、
不思議と魅力を楽しむ島内散策、
そして、季節毎の琵琶湖の食により沖島を堪能して頂きます。

島内散策の先達は滋賀県文化財保護協会 大沼芳幸氏
琵琶湖の幸料理は沖島のお母さん達。

沖島の四季 **春** 秘密のお花見と本諸子を食べす

ほんもろこ

開催日 **2018年 4月6日(金)**

※随時募集

参加料 **7,000円** (予約制)

(乗船料・弁当代・ワンドリンク代・保険代を含む)

10:00 大津港発→16:00 大津港着

詳細裏面



沖島の桜



本諸子の白焼き

沖島の四季 **夏** 水辺の散策と琵琶鱒と鰻を食べす

びわます

うなぎ

開催日 **2018年 8月25日(土)**

※募集開始5月25日より

参加料 **7,000円** (予約制)

(乗船料・昼食代・保険代を含む)

10:00 大津港発→16:00 大津港着

詳細裏面



沖島ビーチ



琵琶鱒の塩焼

お申し込み・お問い合わせ(9:00~17:00) 琵琶湖汽船予約センター tel.077-524-5000

シリーズ

沖島の四季 不思議の島「沖島」を見て食べて楽しむ

沖島の四季 春

ほんもろこ

秘密のお花見と本諸子を食べす 〈予約制〉

沖島は隠れた花見の名所です。湖面に触れそうに咲く桜、その花のトンネルの中を散策します。また、山中に咲く山桜のパッチワークも魅力。島ならではの「千円畑」と呼ばれる、沖島にしかない景色と文化を楽しめます。料理は、春が旬の本諸子を中心とした料理を提供する予定です。



千円畑



本諸子の南蛮漬け

開催日 2018年 4月6日(金) ※随時募集

参加料 7,000円 (乗船料・弁当代・ワンドリンク代・保険代を含む)

10:00 大津港発→沖島上陸散策・昼食→琵琶湖大橋米プラザ寄港(琵琶湖の幸のお買い物)→16:00 大津港着

沖島の四季 夏

びわます うなぎ

水辺の散策と琵琶鱒と鰻を食べす 〈予約制〉

沖島は、琵琶湖航路の要所として、航海安全の神様を祀ったことに始まります。航海の神を祀る沖島巖島神社まで水辺を散策しながら、いにしへの沖島に思いをはせて頂きます。料理は夏が旬の琵琶鱒。そして今や幻の魚となってしまった琵琶湖産鰻の料理を中心に提供する予定です。



巖島神社



鰻の蒲焼き

開催日 2018年 8月25日(土) ※募集開始5月25日より

参加料 7,000円 (乗船料・昼食代・保険代を含む)

10:00 大津港発→沖島上陸散策・昼食→琵琶湖大橋米プラザ寄港(琵琶湖の幸のお買い物)→16:00 大津港着

※各回とも、料理する湖魚はすべて琵琶湖産の天然魚ですので、捕れない場合には別の料理に変更する場合があります。

〈解説者〉

今回のクルーズでは全行程に琵琶湖ヒストリカルマイスター大沼芳幸氏が同行します。

大沼芳幸

公益財団法人滋賀県文化財保護協会・NPO法人歴史資源開発機構

琵琶湖の歴史文化の研究・発信者として知られる。

主な著書 『信長公記を歩く-信長が見た近江』『琵琶湖八珍-湖魚の宴 絶品メニュー』

『白洲正子と歩く琵琶湖 江南編-カミと仏が融け合う処』等

〈予告編〉

沖島の四季 秋

沖島最高峰を極め公魚と蝦を食べす

開催日 2018年 10月27日(土) ※募集開始7月27日より

◆お申し込み・お問い合わせ(9:00~17:00)

琵琶湖汽船予約センター tel.077-524-5000



沖島の四季 冬

どんど焼きと氷魚を食べす

開催日 2019年 1月13日(日) ※募集開始10月13日より

大津港周辺案内



大津港へは
●JR大津駅からバス約5分、浜大津バス停下車(京阪バス・江若バス・近江鉄道バス)
●京阪・浜大津駅下車徒歩3分(大阪・京都方面からはJR山科駅で京阪電車に乗り換え、京阪・浜大津駅下車が便利です)
●名神大津ICから車で約10分

※3/17より京阪電車の「浜大津」は「びわ湖浜大津」に駅名が変更されました。